

目黒区実施計画

令和4(2022)年度～令和8(2026)年度

目黒区財政計画

令和4(2022)年度～令和8(2026)年度

さくら咲き 心地よいまち ずっと めぐる

令和4年3月

目 黒 区

はじめに

昨年3月に、これまでの基本構想に掲げてきた理念を根底に置きつつ、目指すまちの将来像として「さくら咲き 心地よいまち ずっと めぐる」を掲げた新たな「目黒区基本構想」を20年ぶりに策定しました。また、新たな目黒区基本構想が目指すまちの実現に向けて、今年3月に新たな「目黒区基本計画」を策定するとともに、その政策を計画的に進めていくための実行計画として新たな「目黒区実施計画」を策定しました。

新実施計画では、20年後の目黒のまちを見据えるとともに、新たな基本計画に基づき、いま目黒区が重点的に力を注ぐべき3つのテーマとして「未来への投資」「次代を担う子どもたちへ」「安全で快適なまちづくり」を掲げ、49の事業、事業費約472億円を計上しました。

未来を見据え、持続可能な行財政運営を維持していくためのDX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進や脱炭素社会に向けた取組、安心して子どもを産み育てられるまちづくりのための総合的な子ども家庭支援体制の構築、豊かな学びの場であり、コミュニティの拠点となる区立小・中学校の更新と区立中学校の統合、安全で快適な暮らしやすいまちづくりを推進する自由が丘周辺地区の街づくりなど、様々な事業を展開していきます。

また、ビルドとスクラップを一体的に捉え、効果的・効率的な事業展開を図るとともに、平成27（2015）年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」における持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）の視点を取り入れ、各事業とSDGsの掲げる17の目標とを関連づけ、区としての目指す方向性を明確に示しています。

同時に、区の中長期的な財政収支の見直しを行い、実施計画を着実に実施していくための財源の裏付けとなる「目黒区財政計画」を策定しました。

今後の区の財政状況については、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、景気変動の影響を受けやすい区の財政構造を踏まえると、社会経済状況などの変化について、大局的な視点でしっかりと見届ける必要があります。持続可能な区政の実現に向けて、安定的な財政運営を確保していくための取り組みを進めていきます。

新たな基本計画のもとで実施計画、財政計画を推進し、「さくら咲き 心地よいまち ずっと めぐる」に向けて、明るい未来のまちづくりに尽力してまいります。

改めて、皆様のまちづくりへの積極的なご参加とご協力をお願い申し上げます。

令和4（2022）年 3月

目黒区長 青木 英二

目 次

I	実施計画 財政計画 概要版	
	実施計画概要版	3
	財政計画概要版	10
II	目黒区実施計画（令和4（2022）年度～令和8（2026）年度）	
第1	計画の基本的な考え方	
1	計画の目的	15
2	計画の性格・位置付け	15
3	計画の特徴	15
4	計画事業選定の際の基準（基本的な考え方）	16
5	計画の期間及び改定の時期	16
6	計画の進行管理	16
第2	計画の概要	
1	過去4期との事業費比較	17
2	施策の体系	18
3	計画の主な変更点	20
(1)	計画を継続する事業	20
(2)	新たに計画に計上する事業	21
(3)	今回実施計画に計上しない事業	21
4	実施計画事業費集計表	22
5	事業費別新旧計画比較表	24
6	SDGsについて	26
7	主な施設等整備事業	30
第3	計画の内容	
1	事業計画個票の見方	31
2	事業計画個票	33
III	目黒区財政計画（令和4（2022）年度～令和8（2026）年度）	
1	今後の区の財政状況	85
2	財政計画の策定	85
3	歳入・歳出の見通しの条件	85
4	財政計画	86
	別表 目黒区財政計画（令和4（2022）年度～令和8（2026）年度）	87
	参考：積立基金残高の将来予測	87
	参考：特別区債残高の将来予測	87

IV	参考資料	
1	パブリックコメントの実施結果	91
2	目黒区実施計画の策定経緯	93
3	目黒区財政白書2021（令和3年11月発行）抜粋	94
	・財政運営上のルール	94
4	その他	98
	・新たな基本構想に基づく基本計画等策定要領	98
	・目黒区の長期計画のあゆみ	102
	・区民憲章	105

I

実施計画 財政計画
概要版





目黒区実施計画

令和4年度 ●● 令和8年度

概要版

	事業数	事業費(千円)	
事業合計	49	47,216,277	
基本目標など	区政運営方針に係る事業	3	432,803
	1 学び合い成長し合えるまち	11	19,991,157
	2 人が集い活力あふれるまち	1	1,180,276
	3 健康で自分らしく暮らせるまち	5	1,792,683
	4 快適で暮らしやすい持続可能なまち	18	14,121,605
	5 安全で安心して暮らせるまち	11	9,697,753

実施計画の特徴

実施計画は5年間の行財政計画です



Point 1

基本構想に掲げる将来像 **さくら咲き 心地よいまち ずっとめぐろ** を実現するため大きく**3つのテーマ**のもと事業を選定しています。



テーマ1 未来への投資

5年後、10年後の未来を見据え、持続可能な行政運営を維持していくため、いま目黒区がやるべき事業



テーマ2 次代を担う子どもたちへ

地域で安心して子どもを産み育てられるまちづくりを推進し、未来を担う子どもたちが生き生きと育ち、学ぶ環境を整える事業



テーマ3 安全で快適なまちづくり

あらゆる危機事象に対し適切に対処するために備えるとともに、快適で誰もが暮らしやすいまちづくりを推進するための事業

Point 2

SDGsの17のゴールと事業を結び付け、SDGsの視点を踏まえて取組を推進します。



Point 3

ビルドとスクラップを一体的に捉え、新たな時代に即した行財政運営を進めていくため、**実施計画に行革計画の内容を包含**しています。

区政運営方針に係る事業

Pick Up!

主な“未来への投資  ”の事業

NEW

新たな区民センター整備と周辺街づくり

区有施設見直しのリーディングプロジェクトとして、周辺街づくりとともに計画的な取組を進めます。

7千万円

NEW

地方公共団体情報システム標準化

2億8千万円

基本目標1 学び合い成長し合えるまち

Pick Up!

主な“未来への投資  ”

“次代を担う子どもたちへ  ”の事業

NEW

総合的な子ども家庭支援体制の構築

2億7千万円

子育て世代包括支援センターと子ども家庭支援センターとの連携を強化し、児童相談所サテライトオフィスを誘致します。

学校のICT環境整備

2億7千万円

区立小中学校で使用する教育用ICT機器の更新と校内ネットワーク環境の改善を図ります。

区立中学校の適正規模・適正配置の推進

9億2千万円

さらなる区立中学校の魅力づくりとより良い教育環境の整備を図るため、南部・西部地区における区立中学校を統合します。

学校施設の計画的な更新

4億7千万円

NEW

児童・生徒が快適かつ安全・安心に学校生活を送れるように、老朽化した学校施設を計画的に更新します。

●5年間で設計 5校 等



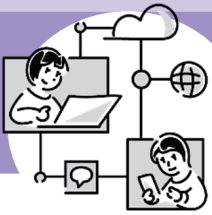
NEW

DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進

デジタル技術を上手に活用して、利便性や行政サービスの向上を実現します。

- 業務改革（BPR）の実施 18業務
- デジタルデバイド対策 等

7千万円



区立保育園の民営化 5億円

児童館・学童保育クラブの拡充整備 9億1千万円

NEW

放課後子ども総合プランの推進 7億円

NEW

区立児童館及び学童保育クラブの民営化 4億3千万円

学校トイレの環境改善 2億5千万円

NEW

電子図書館資料（電子書籍）の充実 1千万円

駒場公園の文化財保存・修復整備 2億3千万円

基本目標2 人が集い活力あふれるまち

文化ホール事業運営に係る設備改修 11億8千万円

基本目標3 健康で自分らしく暮らせるまち

Pick Up!

主な“安全で快適なまちづくり”の事業



特別養護老人ホーム整備支援

4億4千万円

中重度の要介護高齢者が必要なサービスを受けられるよう
民間事業者による特別養護老人ホーム等の整備を支援します。

- 民間特別養護老人ホーム 1か所整備 等



高齢者福祉住宅の整備（東根職員住宅跡活用）

5千万円

基本目標4 快適で暮らしやすい持続可能なまち

Pick Up!

主な“安全で快適なまちづくり”の事業



自由が丘駅周辺地区の街づくり

111億5千万円

にぎわいのある、誰もが安全で快適に移動できる暮らしやすい街を目指し、
都市計画道路補助127号線整備と沿道周辺街づくりに公民連携で取り組みます。

公園リノベーション事業

新たな日常に対応した公園等機能の拡充と公民連携による
公園の利活用を促進します。

- 健康遊具の設置 10か所 等

6億5千万円

祐天寺駅周辺地区の整備

3億5千万円

学芸大学駅周辺地区の整備

2億3千万円



地域密着型サービス基盤等の整備支援 **3億2千万円**

認知症高齢者グループホーム等の地域密着型サービスや都市型軽費老人ホームの整備を支援します。

- 認知症高齢者グループホーム 4ユニット整備 等

特別養護老人ホーム中目黒の改修 **9億3千万円**

障害者グループホームの整備支援 **3千万円**

中目黒駅周辺地区の街づくり **1億3千万円**

目黒駅周辺地区の街づくり **3千万円**

バリアフリー基本構想の推進 **4千万円**

NEW 地域交通の支援の推進 **1億6千万円**

みどりの保全・創出 **3千万円**

めぐろサクラ再生プロジェクト **1億2千万円**

生物多様性の確保 **7千万円**

基本目標4は次のページにも続きます。



基本目標4 快適で暮らしやすい持続可能なまち

Pick Up!

主な“未来への投資”の事業



区有施設の電力供給における脱炭素化の推進

すべての区有施設に非化石燃料由来電力を導入し、脱炭素化を推進します。

1億円



庁用車の脱炭素化促進

9千万円



区有施設の改築における省エネルギー化

※事業費は、他の事業に別掲

再生可能エネルギー・ 省エネルギー設備設置助成

5千万円

道路・橋りょうの強靱化対策

7億3千万円

安全・安心の道路交通対策

3千万円

総合的な自転車対策の推進

9千万円



基本目標5 安全で安心して暮らせるまち

Pick Up!

主な“安全で快適なまちづくり  ”の事業

燃えないまち・燃え広がらないまちへの取組

● 木造住宅密集地域整備事業 **47億7千万円**

● 不燃化推進特定整備事業 **3億8千万円**

● 都市防災不燃化促進事業 **1億2千万円**

不燃化特区内の不燃領域率70%を実現します。

無電柱化の推進

防災機能の強化、安全で快適な歩行空間の充実等のため、無電柱化を推進します。

23億6千万円

NEW

天井非構造部材落下防止対策等
施設改修工事 (区民キャンパス)

6億9千万円

NEW

被災者の生活再建・復興支援の推進

1億3千万円

地域の防犯力向上
(防犯カメラの整備)

1億7千万円

西小山駅周辺の街づくり

1千万円

民間建築物の耐震化促進

8億7千万円

豪雨対策事業

6千万円

環境配慮型の道路整備

8千万円



財政計画～今後の区の財政状況



歳入

社会経済状況などの変化をしっかりと見届ける必要があります！

- 区の財政は景気変動の影響を受けやすい構造となっていることから、コロナの収束が見通せない中、社会経済状況などの変化について、大局的な視点でしっかりと見届ける必要があります。
- 国による不合理な税制改正（法人住民税の一部国税化、地方消費税の清算基準の見直し、ふるさと納税）による影響が今後も継続されることが懸念されます。

歳出

大きな課題を抱えています！

- ポストコロナを意識した新たな生活様式に即した取組の推進や、新たな基本計画及び実施計画に基づいた取組を確実に進めていきます。
- 子育て支援施策の拡充等による社会保障経費の増や今後の学校を中心とした区有施設の更新経費負担が大きな課題となっています。

目黒区の明るい未来を描くために！

限りある財源を真に必要性・緊急性の高い事業に有効活用します！
新たな課題や災害に対応できるよう健全な行財政運営を展開します！

財政計画(令和4(2022)年度～令和8(2026)年度)

中期的な見通しを持って計画的な財政運営を進めるため、実施計画の策定に合わせて5か年の財政計画を策定しています。

令和4(2022)年度～令和8(2026)年度の財政計画は次の表のとおりです。

(単位:億円)

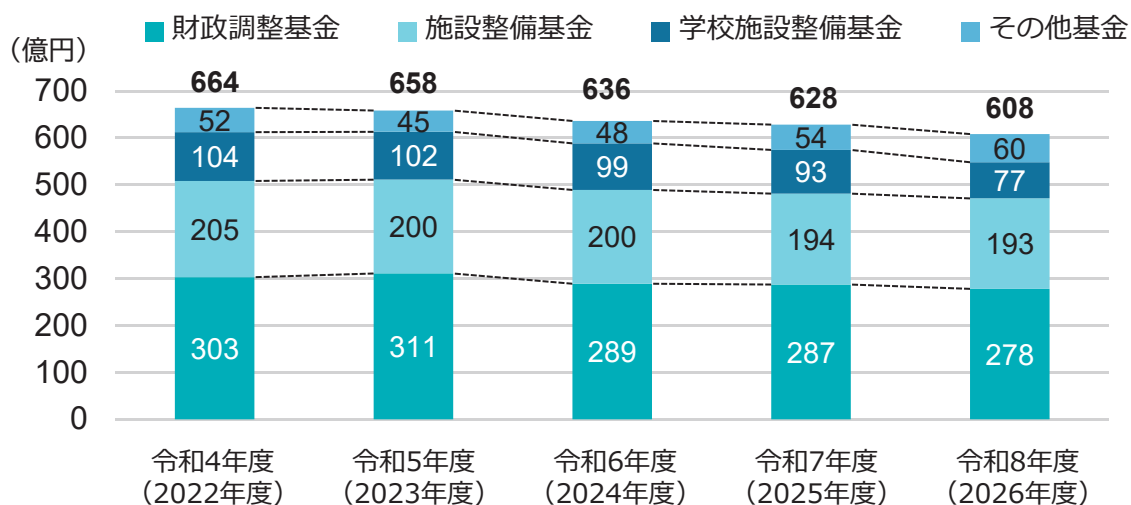
		令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	合計
歳入	区税収入	459	463	462	460	457	2,301
	税外収入	680	645	673	657	666	3,321
	特別区債	13	10	13	22	48	106
	合計	1,153	1,118	1,148	1,139	1,170	5,728
歳出	人件費	213	200	212	196	209	1,029
	その他経費	940	918	936	943	961	4,698
	合計	1,153	1,118	1,148	1,139	1,170	5,728
	※うち実施計画事業費	76	82	105	101	108	472

注1) 各項目で四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

注2) 令和4年度の実施計画事業費は、令和3年度からの繰越明許費を含みます。

【参考】 積立基金残高(貯金)の将来予測

今後見込まれる歳入よりも歳出が大きくなることが予測されるため、基金残高(貯金)は徐々に減少していく見込みです。

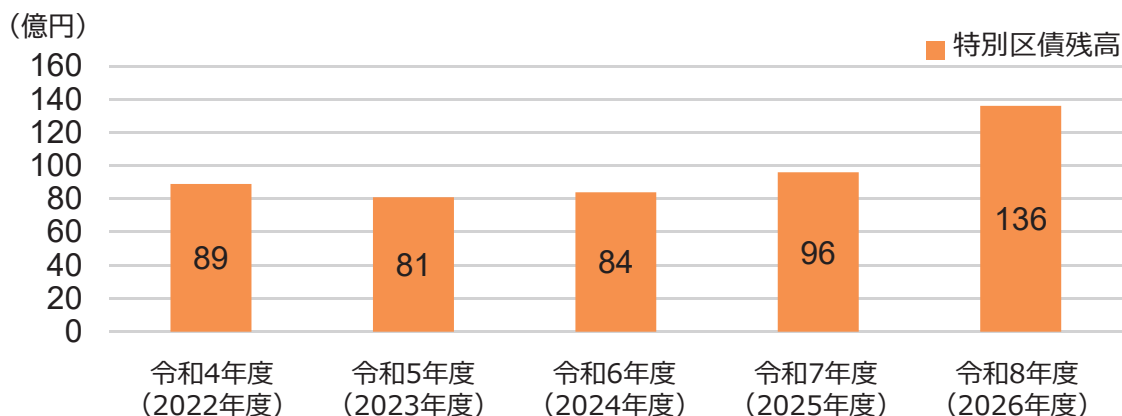


(単位:億円)

	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
積立基金残高	664	658	636	628	608
うち財政調整基金	303	311	289	287	278
うち施設整備基金	205	200	200	194	193
うち学校施設整備基金	104	102	99	93	77

【参考】 特別区債残高(借金)の将来予測

令和5年度までは着実な償還(返済)を続けることにより減少していく一方で、令和6年度以降は学校の統合や学校施設の更新経費に関する起債を行う予定であることから、特別区債残高(借金)は増えていく見込みです。



(単位:億円)

	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
特別区債残高	89	81	84	96	136

